

□ 会議次第

■ 知事挨拶

■ 議事

- (1)大分県における働き方改革について
- (2)「働き方改革関連法案」について
- (3)意見交換

□ 議事(1)大分県における働き方改革について

資料1に沿って、大分県雇用労働政策課長及び大分労働局長から、働き方改革に関するこれまでの取組、及び今後の施策、共同宣言目標の状況、H30年3月末に締結した「大分県雇用対策協定」について、報告を行った。

□ 議事(2)「働き方改革関連法案」について

資料2に沿って、大分労働局長から、関連法案のポイントについて説明した。

- ・労働時間の見直し
- ・高度プロフェッショナル制度
- ・非正規労働者の処遇改善 等

□ 議事(3) 意見交換

(中小企業・小規模事業者への働き方改革の浸透について)

■ 経済団体

- ◇中小企業のビジネスモデルを変化させるためには、資金繰りの支援だけではなく、経営を進化させる支援が必要である。
- ◇中小企業の実態を把握した上で、経営者に必要性が響くよう、働き方改革を進めてほしい。

◇経営者は、社員に自分のビジョンを明確に伝え、社員は自分たちで仕組み作りを考え、実践していく。経営者と社員が一体となって進めていくことが必要である。

(若年人材の確保、定着の促進)

■ 経済団体

◇中央の大企業が若年者の人材確保に力を入れている。大企業と競争して人材を確保していくための方策を考えなければならない。

(女性の多様な働き方の推進)

■ 労働団体・労働者代表

◇女性の活躍を推進するためには、小学校の頃からキャリア教育を行い、意識改革を行うことが必要である。

◇意識改革は学校教育の中だけではなく、家庭、社会での取組も必要である。

■ 経済団体

◇女性は、入社後総合職を選択しても、結婚して辞めてしまう人も多い。日本全体の風土改革が必要である。

■ 企業経営者

◇女性の就業継続や子育て中の女性の再就職等の問題がある一方で、企業や行政の情報が女性に、女性の声が企業等に届いていない面もあり、情報のマッチングが必要である。

(その他)

■ 有識者

◇小学校の頃からタイムマネジメントを学ぶことで、効率性や生産性を考えた働き方ができるようになるのではないか。

◇時短のテクニック等をまとめた事例集を作ってみてはどうか。

■ 企業経営者

◇働き方改革と言うと、労働時間の問題が取りざたされるが、仕事の質も大切にしたい。ICTの技術を活用すると、どこでも仕事ができ、効率化できる。

◇IT化を進め、仕事の見える化を進めていくことは効果的である。